

### 大歳地区の“三世代交流の場”として、今年も開催します！

## 「竹細工・そうめん流し」

日時 **7月29日** (水) 10:00～13:00 (受付 9:30～)

場所 **大歳地域交流センター**

内容 ・竹細工を作って遊ぼう！  
・みんなで食べよう！そうめん流し

参加費 小学生以上 一人 100円

主催 大歳地区社会福祉協議会

申し込み 大歳地域交流センター (Tel.922-4035)

子どもの参加申込書は小学校を通じて配布します。



**参加者大募集**  
スタッフ

\*子ども達に竹細工を教えていただける方や調理室でのお手伝いをしてくださる方を募集しています。ご協力いただける方は7月21日(火)までに **大歳地域交流センター (8922-4035)** までお知らせください。

## 大歳地区敬老祝賀会のご案内

猛暑の昨今ですが、今年も開催します。会場は、昨年と同場所です。お間違えのないようにご注意ください。

日時 平成27年9月19日(土) 午前11時から

会場 山口県総合保健会館(山口市吉敷下東)

内容 祝賀式典 お楽しみ会

対象者 昭和16年4月1日以前にお生まれになった75歳以上の方々  
(後日、ご案内させていただきます。)



## ご寄付

平成27年2月1日  
～平成27年6月30日

たくさんの善意を  
ありがとうございました。

### 香典返し

(受付順・敬称略)



- 神本 俊洋 (上矢原) 御尊父 秀様
- 前原 博志 (上矢原) 御尊父 恒雄様
- 山本 薫 (上湯田上) 御尊父 昭八様
- 田坂 武雄 (鴨原) 御母堂 ミサ子様
- 平田 洋二 (三作) 御尊父 嘉治様
- 秦 武信 (上矢原) 御母堂 シナコ様

## 大歳社協だより

発行：大歳地区社会福祉協議会

### 総会を終えて || 共に支え合う地域づくり ||

皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より皆様方には、大歳地域福祉協議会の事業活動に対しご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さる四月十八日の地区社協総会において平成二十六年  
度事業報告・決算報告ならびに、平成二十七年の事業  
計画・予算案について  
審議され、承認されま  
した。併せて会長以下  
役員についても選出承  
認されました。

高齢者や支援を必要  
とする方々が安心して  
住むことの出来る大歳  
地域の福祉向上に微力  
ながら役員一同努めて  
参ります。  
地域の皆様のご理解  
ご協力よろしくお願  
い申し上げます。



**地区社会福祉協議会とは**

地区社協とは、地域住民に最も身近な社協として「住み慣れた地域で誰もが安心して、心豊かに暮らし続けることができる地域(まち)づくり」をめざして、住民主体、住民参加により、地域の福祉課題・生活課題の解決方策を協議するとともに、課題解決に向けた取り組みを実施することを目的に組織された任意の団体です。

会長	野々村 壽代	民生児童委員協議会長
副会長(新)	水岡 隆廣	大歳自治会長会長
副会長	坪郷 芳一	大歳地区老人クラブ連合会長
理事(新)	吉富 滋浩	上湯田上自治会長
	山本 和生	上湯田下自治会長
(新)	武田 賢治	矢原住宅自治会長
(新)	幸坂 美彦	下湯田自治会長
(新)	石村 友宏	坂東自治会長
(新)	木村 一郎	勝井自治会長
(新)	藤井 盛男	和田自治会長
(新)	武波 義明	馬庭自治会長
(新)	馬越 帝介	青少年健全育成連絡協議会長
(新)	金子 俊浩	小学校PTA会長
(新)	宮成 恵臣	福祉員協議会長
	青木恵美子	食生活改善推進協議会
	三輪 陽子	母子保健推進協議会長
監事(新)	林 正則	中矢原自治会長
(新)	石川 孝雄	馬庭自治会長
事務局長(新)	藤田 和世	福祉員協議会副会長



### 新任の挨拶

副会長 水岡 隆廣

大歳自治会長会長を受  
けたことに伴い、大歳地区社  
協の副会長も受けることとな  
りました。自治会の役員を三  
年目として、現在取り組んで  
いますが、やはり専門性から  
か、助援者が特定し、なかな  
か一般的には理解しづらいこ  
とも、又参加することについ  
ても拡大が図られていない実  
情があります。

一人でも多くの輪を作る為  
に何が出来るかを、今年一年  
かけて皆様と共に考えて参り  
たいと思っておりますので、よろし  
くお願いします。

事務局長 藤田 和世

今年度から事務局長をつと  
める藤田です。

平成二十一年度から福祉員  
の活動を通して地区社協の事  
業に参加してきました。社会  
福祉の推進にあたり、一番身  
近な窓口としての地区社協の  
活動をすすめてゆけるよう、  
自治会員の皆様の御協力をい  
ただきながらつとめてまいり  
ます。

よろしく申し上げます。

**(特別会計)**

収入 (単位 円)		
費目	予算額	内訳
寄付金	400,000	香典返し寄付金
雑収入	796	預金利息
繰入金	0	財政調整基金より繰入
繰越金	1,708,204	前年度繰越金
合計	2,109,000	

支出 (単位 円)		
費目	予算額	内訳
印刷費	30,000	香典返し挨拶状印刷費
供物料	200,000	新盆参拝供物、香代
消耗品費	20,000	消耗品
助成費	1,230,000	防犯灯他各種事業助成
備品費	50,000	
環境整備費	50,000	
積立金	0	財政調整基金積立金
予備費	529,000	
合計	2,109,000	



いきいきふれあいサロン (上矢原はつらつ会)



ソフトベタンク

- \* 法定外公共物設置助成
- \* 花壇整備助成
- \* 体育振興会活動助成
- \* 葬儀香代、寄付者新盆参拝
- \* 香典返し寄付者挨拶状印刷
- \* 共同募金(赤い羽根募金・歳末たすけあい募金)の推薦
- \* いきいきサービス事業

**平成27年度大歳地区社会福祉協議会予算**

**(一般会計)**

収入 (単位 円)		
費目	予算額	付記
会費	1,320,000	4,400世帯×300円
補助金	2,608,000	市社協からの助成金
配分金	1,080,000	共同募金地域配分金等
雑収入	31	預金利息
繰入金	100,000	財政調整基金より
繰越金	949,969	前年度繰越金
合計	6,058,000	

支出 (単位 円)		
費目	予算額	付記
会議費	150,000	総会、理事会
事務費	250,000	事務用品費、通信費、保険代他
総務広報部	1,605,000	敬老祝賀行事費、地区社協だより印刷費他
見守り訪問部	210,000	見守り訪問活動費
給食サービス部	350,000	ふれあい給食
子育て支援部	90,000	子育て応援講座、太陽クラブ
環境美化部	40,000	大歳駅美化活動
健康づくり部	50,000	地区民料理教室
活動助成金	663,000	各団体助成
交際費	60,000	会長交際費
旅費	30,000	各種研修会等旅費
厚生費	30,000	災害見舞金
負担金	2,320,000	市社協会費、東日本大震災義援金、事務雇用賃金等
積立金	0	財政調整基金積立金
予備費	210,000	
合計	6,058,000	



**主要事業計画**

- \* 敬老祝賀会行事の挙行
- \* 地区社協だより発行
- \* 三世代交流事業
- \* 「竹細工・そうめん流し」「昔の遊び・もちつき大会」
- \* 「見守り訪問活動」
- \* ふれあい給食サービス
- \* 子育て支援活動
- \* 花壇づくりと清掃(大歳駅)
- \* 地区民の料理教室
- \* 各福祉関係団体等への助成
- \* 防犯灯、反射鏡、ゴミステーション設置、電灯料助成

●認知症サポーターになりませんか●

**認知症を学び 地域で支えよう**



**認知症になっても、住み慣れた地域で、安心して暮らせる「まちづくり」に向けて**

65歳以上の高齢者のうち認知症を発症している人は推計15%(7人に1人)で2012年時点で約462万人に上ることが厚生労働省研究班の調査で明らかになっています。

認知症は、脳の病気によるのもので誰でもなる可能性があります。だれもが認知症について正しい知識をもち、認知症の人とその家族を支え、誰もが暮らしやすい地域をつくっていく地域住民の支援が必要です。

認知症になっても暮らしやすい地域をつくるための活動として自治振興会、地区社協との協働で認知症サポーター養成講座の開催を検討しております。

**認知症サポーターとは**

「認知症サポーター」とは、認知症を正しく理解し、認知症の方やそのご家族を自分のできる範囲で暖かく見守り支えていく人のことです。

たとえば、友人や家族が認知症になった場合、ご本人やその家族の気持ちを理解するよう啓発に努めたり、隣近所の人にあいさつなどの声かけをするなど、できる範囲で手助けをさせていただく人のことです。

**認知症の人への具体的な7つの対応のポイント**

- ◎ **まずは見守る**  
認知症と思われる人に気づいたら、本人やほかの人に気づかれないように、一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守ります。近づきすぎたり、ジロジロ見たりするのは禁物です。
- ◎ **余裕をもって対応する**  
こちらが困惑や焦りを感じていると、相手にも伝わって動揺させてしまいます。自然な笑顔で応じましょう。
- ◎ **声をかけるときは一人で**  
複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、できるだけ一人で声をかけます。
- ◎ **後ろから声をかけない**  
一定の距離で相手の視野に入ったところで声をかけます。唐突な声かけは禁物。「何かお困りですか」「お手伝いしましょうか」「どうなさいました?」「こちらでゆっくりどうぞ」など。
- ◎ **相手に目線を合わせてやさしい口調で**  
小柄な方の場合は、体を低くして目線を同じ高さにして対応します。
- ◎ **おだやかに、はっきりした滑舌で**  
高齢者は耳が聞こえにくい人が多いので、ゆっくりとはっきりした滑舌を心がけます。早口、大声、甲高い声でまくしたてないこと。その土地の方言でコミュニケーションをとることも大切です。
- ◎ **相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する**  
認知症の人は急かされるのが苦手です。同時に複数の問いに答えることも苦手です。相手の反応を伺いながら会話をしましょう。たどたどしい言葉でも、相手の言葉をゆっくり聴き、何をしたいのかを相手の言葉を使って推測・確認していきます。